平成 30 年分　給与所得者の保険料控除申告書の記載例

給与の支払者の所在地等の所轄税務署長を記載します。

平成 30 年分　給与所得者の保険料控除申告書

所轄税務署長　麹町

給与の支払者の名称（氏名）：株式会社 ○○○○

※この申告書の提出を受けた給与の支払者（個人を除きます。）が記載してください。

給与の支払者の法人番号：1 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7

給与の支払者の住所（居所）：[illegible] 1 [illegible]

（フリガナ）あなたの氏名：ワタナベ　タダシ　渡辺　正　渡辺

あなたの住所（居所）：東京都港区芝 5－8－1

給与の支払者受付印　保

この申告書を受理した給与の支払者が、給与の支払者の法人番号を付記します。給与の支払者が個人の場合は、給与の支払者の個人番号を付記する必要はありません。

保険金等の受取人はあなた本人又はあなたの配偶者や親族であることが必要です。

保険料控除証明書等に記載されている新旧区分を記載してください。

保険等の対象となった家屋等に居住又は家財を利用している人は、あなた又はあなたと生計を一にする親族であることが必要です。

生命保険料控除

保険会社等の名称	保険等の種類	年数	保険等の契約者の氏名	受取人の氏名	受取人とあなたとの続柄	新旧区分	(a)	支払者の確認印
一般 ●●生命	養老	10年	渡辺　正	渡辺　弘美	妻	新・旧	25,000 円	
一般 ●●生命	養老	10年	同上	同上	同上	新・旧	80,000 円	
介護医療保険料 ●●生命	介護	10年	渡辺　正	渡辺　弘美	妻		80,000 円	
個人年金保険料 ●●生命	○○年金	30年	渡辺　正	渡辺　正（支払開始日 H45．7．1）	本人	新・旧	90,000 円	
個人年金保険料	○○年金	30年	同上	同上（支払開始日 H45．7．1）	同上	新・旧	30,000 円	

支払った保険料の新旧区分ごとの合計金額を記載してください。

(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A	25,000 円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B	80,000 円
(a)の金額の合計	C	80,000 円
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	90,000 円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	30,000 円

25,000 円 × 1/2 ＋ 10,000 円 =22,500 円【計算式Ⅰ（新保険料等用）】

80,000 円 × 1/4 ＋ 25,000 円 =45,000 円【計算式Ⅱ（旧保険料等用）】

80,000 円 × 1/4 ＋ 20,000 円 =40,000 円【計算式Ⅰ（新保険料等用）】

90,000 円 ⇒ 最高 40,000 円【計算式Ⅰ（新保険料等用）】

30,000 円 × 1/2 ＋ 12,500 円 =27,500 円【計算式Ⅱ（旧保険料等用）】

Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等用）に当てはめて計算した金額	①	22,500 円（最高40,000円）
Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等用）に当てはめて計算した金額	②	45,000 円（最高50,000円）
①と②のいずれか大きい金額	㋑	45,000 円
Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等用）に当てはめて計算した金額	㋺	40,000 円（最高40,000円）
Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等用）に当てはめて計算した金額	④	40,000 円（最高40,000円）
Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等用）に当てはめて計算した金額	⑤	27,500 円（最高50,000円）
④と⑤のいずれか大きい金額	㋩	40,000 円（最高40,000円）
㋑＋㋺＋㋩		120,000 円（最高120,000円）

計算式Ⅰ（新保険料等用）※	
A,CまたはDの金額	控除額の計算式
20,000円以下	A、CまたはDの全額
20,001円から40,000円まで	A、CまたはD×1/2＋10,000円
40,001円から80,000円まで	A、CまたはD×1/4＋20,000円
80,001円以上	一律に40,000円

計算式Ⅱ（旧保険料等用）※	
BまたはEの金額	控除額の計算式
25,000円以下	BまたはEの全額
25,001円から50,000円まで	BまたはE×1/2＋12,500円
50,001円から100,000円まで	BまたはE×1/4＋25,000円
100,001円以上	一律に50,000円

※　控除額の計算において算出した金額に１円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

㋑45,000 円＋㋺40,000 円＋㋩40,000 円 =125,000 円 ⇒ 最高 120,000 円

地震保険料控除

保険会社等の名称	保険等の種類（目的）	保険期間	保険等の対象となった家屋に居住又は家財を利用している者等の氏名	あなたとの続柄	地震保険料又は旧長期損害保険料の区分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、左欄の区分に係る金額（分配を受けた剰余金等の控除後の金額）Ⓐ	給与の支払者の確認印
××火災	地震(建物)	5年	渡辺　正		地震・旧長期	42,000 円	
			同上	本人			
▲▲火災	積立傷害	12年	渡辺　正		地震・旧長期	14,800	
			同上	本人			

Ⓐのうち地震保険料の金額の合計額	Ⓑ 42,000 円
Ⓐのうち旧長期損害保険料の金額の合計額	Ⓒ 14,800 円
地震保険料控除額	Ⓑの金額（最高50,000円）42,000 円 ＋ Ⓒの金額（Ⓒの金額が10,000円を超える場合は、Ⓒ × 1/2+5,000 円）※（最高15,000円）12,400 円 ＝（最高50,000円）50,000 円

地震保険料の金額の合計額 = 控除額（最高 50,000 円）

14,800 円 × 1/2 ＋ 5,000 円 =12,400 円

42,000 円 ＋ 12,400 円 =54,400 円 ⇒ 最高 50,000 円

社会保険料控除

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになる者の氏名	支払額
			円
合計（控除額）			円

国民年金保険料などのようにあなたが直接支払った社会保険料を記載します。給料から差し引かれた社会保険料は記載しません。

小規模企業共済等掛金控除

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計（控除額）	円

◎　この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

（源泉徴収義務者の方へ）支払った保険料等の金額の合計額　　を源泉徴収票の所定の欄に転記してください。

注意事項　Q&A　チェック表